

保管用

施工説明付き

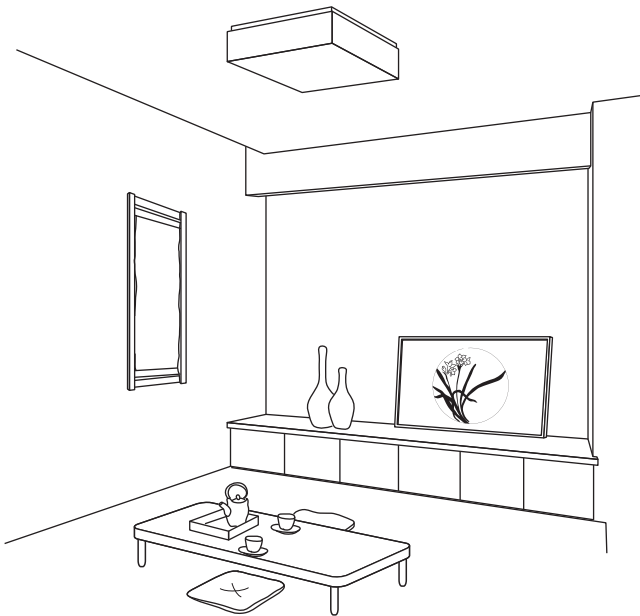
保証書別添付

取扱説明書

住宅用照明器具 (シーリングライト)

LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を
参照ください



※イラストはイメージです。

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を
必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず
確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
お手入れについて	6
各部のはたらき	6
あかりをつける	7
リモコンの設定と便利な使いかた	8
留守中に在宅を装う (るすばんモードの使いかた)	10
故障かな?と思ったら	11
ご使用上に関するお知らせ	裏表紙
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

便利な「るすばんモード」機能付き

- 「るすばんモード」をセットすると、留守中に
照明器具が自動で点灯・消灯し在宅を装います。

(例)初期設定
昼間は消灯
17:00になると
自動で点灯
23:00になると
自動で消灯



- るすばんモードは
解除するまで
毎日繰り返します。
在宅を装うため、
点灯・消灯時刻は
毎日変わります。

(例) 点灯・消灯時刻	設定 日	2日 目	3日 目	4日 目
設定通り	●		●	
15分前		●		
30分前				●

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■天井

平面部

□780mm以上

■配線器具

■壁スイッチ

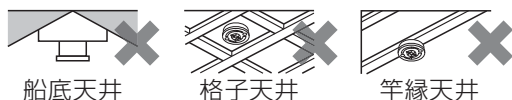
■天井



必ず守る

- 必ず上図のような平面部が□780 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

- 凹凸のある場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



※アダプタ(別売:品番HK9059)を使用した場合は、竿縁天井に取り付けできます。詳細はアダプタの取扱説明書をご参照ください。



禁止

- 補強のない場所(ベニヤ板や石こうボードなど)に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

- 傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。



■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



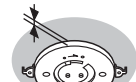
- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しが小さくなったもの

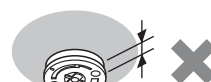


禁止



ローゼット10mm未満

斜めに取り付けられたもの



引掛シーリング19mm未満

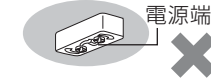
シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイトに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ

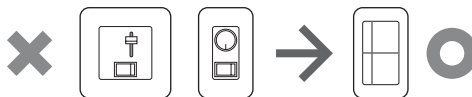


■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



必ず守る

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

- アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

- 本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- リモコンのLED手元灯やカバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない。目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

取り付け前のご準備

●カバーを取り外す

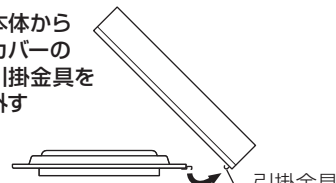
- ①カバーの止め金具を回す



- ②カバーの止め金具側を持ち上げる(約45°)



- ③本体からカバーの引掛金具を外す



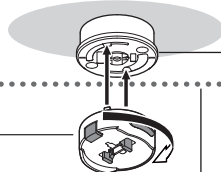
照明器具

(カバー形状は品番により異なります)

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)

補修品番NZ2717M



配線器具

丸型フル引掛シーリング(1個)



引掛シーリング用木ネジ (2本)



常夜灯

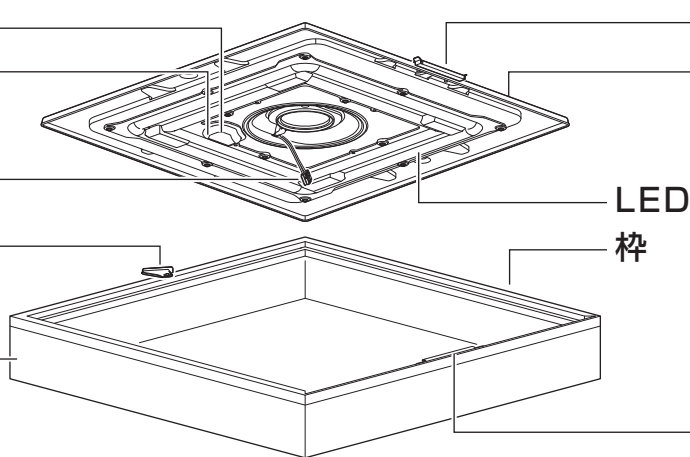
リモコン受信器

コネクタ

止め金具

カバー

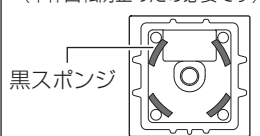
(品番をカバーのラベルに表示しています)



取付金具

本体

※器具本体裏面に4カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)



引掛金具

リモコン付属部品

リモコン(1個)

補修品番:HK9491MM

操作方法は、6~10ページ参照

液晶面に保護シートを貼付していますので、はがしてご使用ください。

単3形乾電池(2本)

乾電池の入れかた

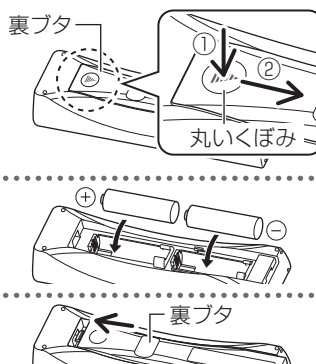
- 1 リモコンの裏ボタンを開ける

- ①裏ボタンの丸いくぼみを押しながら
- ②スライドさせて開ける

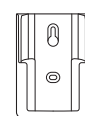
- 2 単3形乾電池を2本入れる

乾電池の⊕⊖を正しく入れる

- 3 裏ボタンをスライドさせて閉める



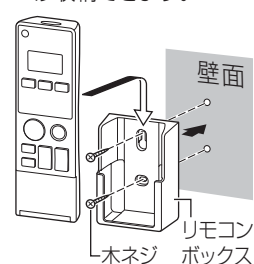
リモコンボックス(1個)



リモコンボックス用木ネジ(2本)



- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。 ☎ 裏表紙「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2 の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

天井からの出しろが 22 mm の配線器具

丸型フル引掛
シーリング



WG5005 WG5015

丸型引掛
シーリング



WG4000 WG4420
WG4425 WG1500

フル引掛
ローゼット



WG6005

角型引掛
シーリング



WG1000

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

引掛埋込ローゼット



WG6000 WG6420 WG6130

引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)



WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃 (2カ所) を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

確認

ボタンを押さずに左に回して
外れないことを確認する



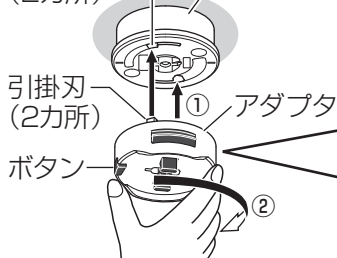
警告



アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

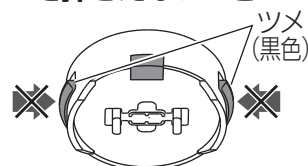
スライド穴
(2カ所)

配線器具※



※: 代表例を表示しています

× アダプタのツメ (黒色)
を押さえないこと



押さえるとロックがかかり
取り付けできません

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

※配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、
アダプタが正しく取り付けられていません。

→ 取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す

☎ 次ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照

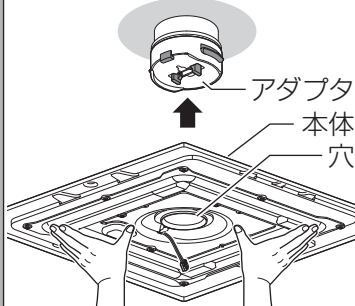
(2) 再度、手順 2 を行う



警告



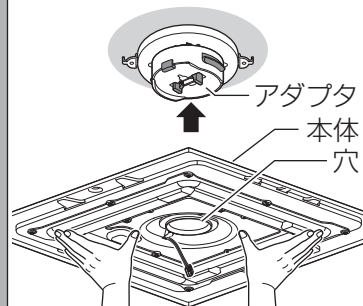
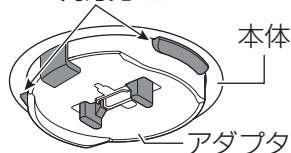
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

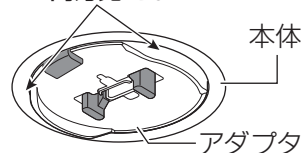
アダプタのツメ (黒色) が
両方見える



カチッと1度、音が
するまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

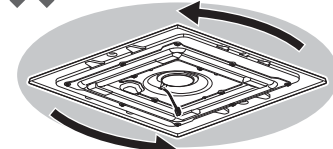
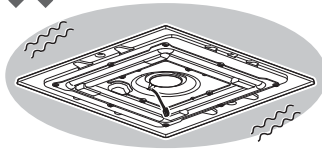
アダプタのツメ (黒色) が
両方見えない



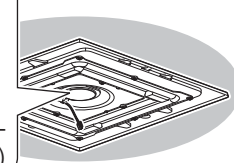
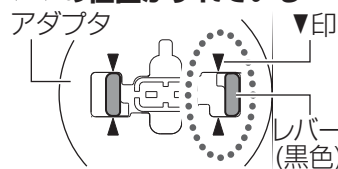
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

× 本体がグラグラする

× 本体が簡単に回転する



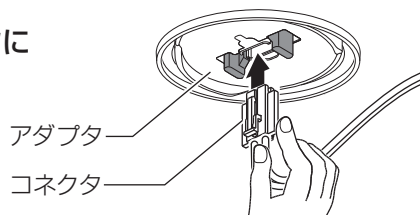
× アダプタの▽印とレバー
の位置がずれている



上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

5 コネクタをアダプタに差し込む

- ① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する
- ② コネクタをアダプタに確実に差し込む



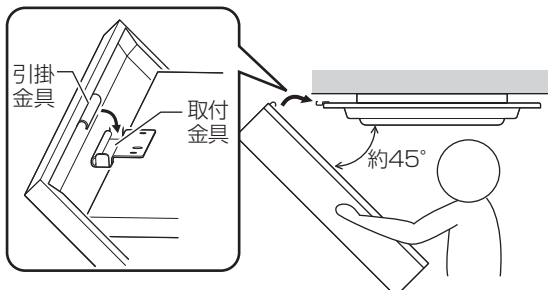
確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→ 差し込めない場合は、前ページ手順③に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して(☞ 下記「照明器具を取り外す」手順①参照) 本体を押し上げる(☞ 前ページ手順③参照)

6 カバーを取り付ける

- ① カバーの引掛金具を本体の取付金具に引掛ける

・ カバーを約45° の角度で取り付けてください。



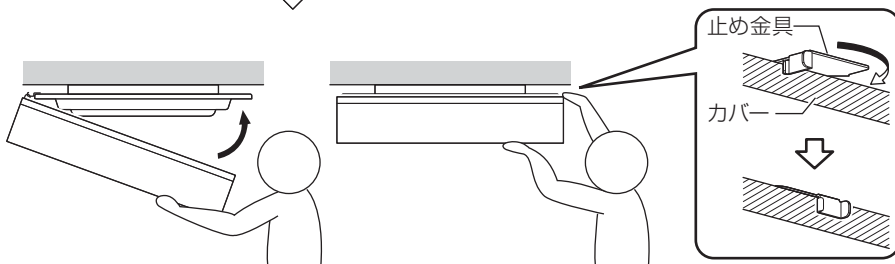
⚠ 注意



カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。

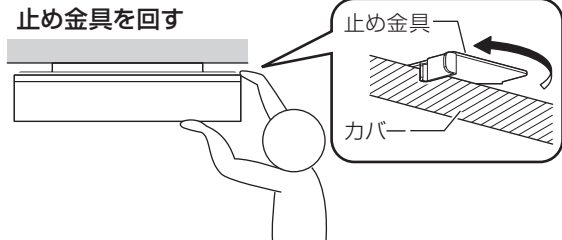
- ② カバーを押し上げ、カバーの止め金具を回して本体にカバーを固定する

横棧のあるカバーは横棧を持ったないでください。
変形・破損の原因となります。

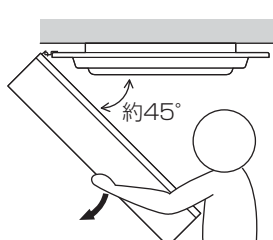


カバーの外しかた

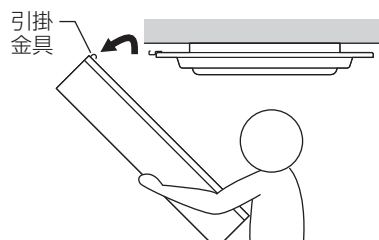
- ① 片手でカバーを支えながら止め金具を回す



- ② カバーを引き下げる(約45°)



- ③ 本体からカバーの引掛金具を外す



※ カバーを45°以上開いた場合、開きが止まることがあります。
約45°まで戻してカバーを外してください。
無理に押し開くとカバー破損の原因となります。

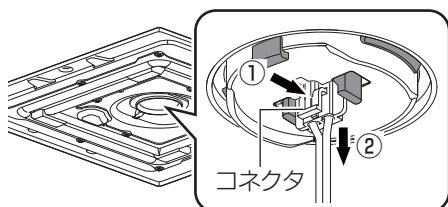
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

1

コネクタを外す

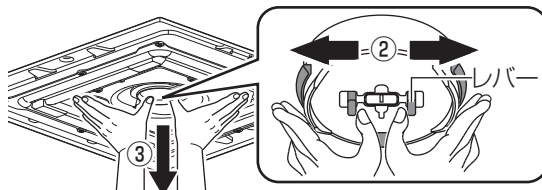
- ① つまみながら
- ② 引いて、外す



2

本体を外す

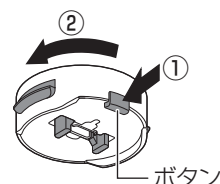
- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② レバーを矢印の方向(左右)に広げたま
- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



3

アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す

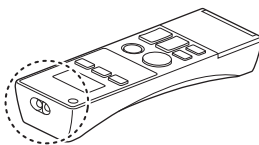


- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のもののでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

リモコン
送信部



各部のはたらき

リモコン（フタを開けた状態）

リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。

白い色ボタン

LEDが昼光色6500K*、明るさ約80%で点灯
☞ 7ページ「あかりシーンを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが昼光色6200K*、明るさ100%で点灯
☞ 7ページ「あかりシーンを切り替える」参照

点灯・普段ボタン

普段のあかりで点灯
☞ 7ページ「あかりシーンを切り替える」参照

常夜灯ボタン（蓄光）

常夜灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯（初期設定：100%の明るさ）
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 8ページ「常夜灯を点灯する」参照

手元灯ボタン（蓄光）

ボタンを押している間はLED手元灯が点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 9ページ「LED手元灯（橙）を操作する」参照

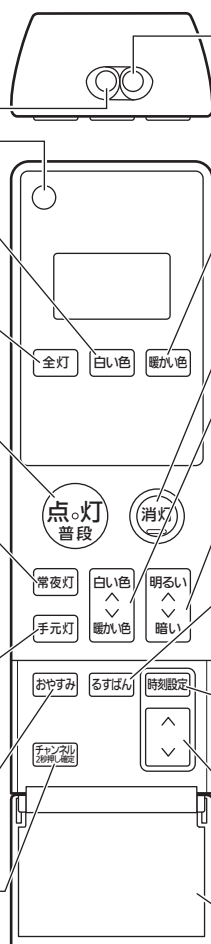
おやすみタイマーボタン

☞ 9ページ「おやすみタイマーをセット/解除する」参照

チャンネルボタン

操作する器具のチャンネル（1～3）を設定（初期設定：チャンネル1）
☞ 9ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

送信部1
送信部2



LED手元灯（橙）

手元灯ボタンを押している間はLED手元灯（橙）が点灯

暖かい色ボタン

LEDが電球色2700K*、明るさ約50%で点灯
☞ 7ページ「あかりシーンを切り替える」参照

消灯ボタン

調色ボタン

LEDの光色を昼光色から電球色に連続で調節
☞ 7ページ「あかりシーンを切り替える」参照

明暗ボタン

LED（100%～約5%）、常夜灯（6段階）の明るさを調整
☞ 7ページ「あかりシーンを切り替える」参照
8ページ「常夜灯を点灯する」参照

るすばんボタン

るすばんモードの設定/解除
☞ 10ページ
「留守中に在宅を装う（るすばんモードの使いかた）」参照

時刻設定ボタン

現在時刻・るすばんの時刻を設定
☞ 8ページ「リモコンの現在時刻を設定する」参照

H/Vボタン

現在時刻・るすばんの選択、時刻を変更
☞ 8ページ「リモコンの現在時刻を設定する」参照

フタ

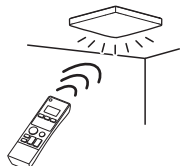
フタを開けて、時刻設定やチャンネル切替を行います。

※ K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

送信のしかた 必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

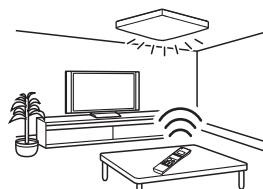
●通常の点灯・消灯の場合

「送信部1」を器具に向けて操作する。



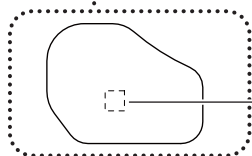
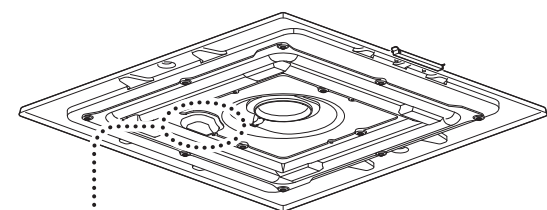
●「るすばんモード」「おやすみタイマー」を使用する場合

寝かせた状態で点灯・消灯することを確認する。



各部のはたらき

リモコン受信器 (本体)



リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
傷つけたり、汚したりしないでください。

■リモコン操作時の音を消す方法

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1



リモコンのフタを開けて
「リモコン送信部」を
器具に向ける

2



リモコンの
「点灯・普段ボタン」と
「チャンネルボタン」を
同時に押す

メモ

リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

あかりをつける

あかりシーンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンのシーン切替ボタンで4つのあかりシーン
(普段、全灯、白い色、暖かい色) が選べます。

リモコン



シーン切替ボタン

調色ボタン

明暗ボタン

白い色

昼光色

全灯

文字くっきり光

暖かい色

電球色

「白い色ボタン」を押すと、
昼光色6500K※、明るさ約80%
で点灯

「全灯ボタン」を押すと、
昼光色6200K※、明るさ100%
(文字くっきり光)で点灯

「暖かい色ボタン」を押すと、
電球色2700K※、明るさ約50%
で点灯

点灯 普段

普段のあかり

「点灯・普段ボタン」を押すと、左図の範囲内
であらかじめ設定した明るさ、光色で点灯
(初期設定:昼白色5000K※、明るさ約85%)

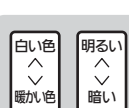
■普段のあかりを調光、調色して記憶させる

1



リモコンの「点灯・普段ボタン」を
押して普段のあかりを点灯させる

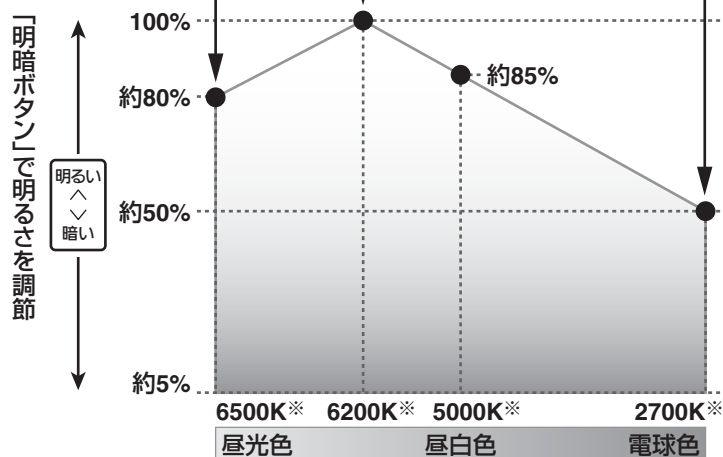
2



リモコンの「明暗ボタン」
「調色ボタン」で
明るさ、光色を調節する → 記憶

メモ

- LEDの明るさ、光色を調節すると、その都度記憶します。
- 「全灯ボタン」「白い色ボタン」「暖かい色ボタン」を押して、上記手順2の操作をした場合も「点灯・普段ボタン」に記憶されます。



「調色ボタン」で光色を調節

※ K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

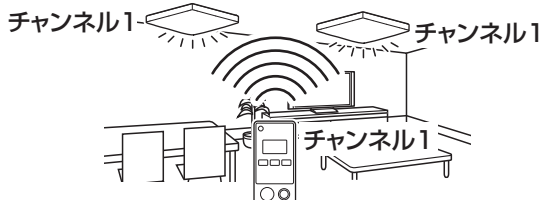
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
(リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。)

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。

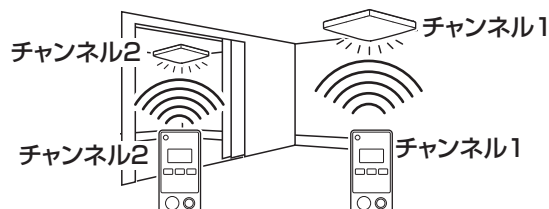
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

(例)一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。

(例)隣室にもリモコン照明器具がある場合



- 壁スイッチON チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)



- リモコンのフタを開けて「チャンネルボタン」を押し希望のチャンネル(CH1~3)に合わせる
現在設定されているチャンネルが表示されます。
その後、押すごとにCH1→CH2→CH3と切り替わります。
(最後に操作してから約10秒後に表示は消えます。)

チャンネル
2秒押し確定

CH 1

- (リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて)チャンネルが表示中にもう一度「チャンネルボタン」を2秒以上押す
→「ピーピーッ」と音がして設定完了



チャンネル
2秒押し確定

※1:周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

メモ

- 本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

- リモコンの「全灯」「白い色」「暖かい色」「常夜灯」「点灯・普段」「消灯」「調色」「明暗」のいずれかのボタンを押している間は、現在設定されているチャンネルが表示されます。



いずれかのボタンを押している間は

設定されているチャンネルが表示されます。

おやすみタイマーをセット／解除する

おやすみタイマーをセットすると、30分または60分後に自動消灯を行います。

- リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押し希望のタイマーをセットする
(30分後消灯) (60分後消灯) (未設定・解除)
おやすみ 30 12:34 → おやすみ 60 12:34 → 12:34
押すごとに表示が切り替わります。

おやすみ

メモ

- 「おやすみタイマー」設定時間経過後、タイマー時間表示は消え、その「おやすみタイマー」は解除されます。
- 「おやすみタイマー」セット中に、「消灯ボタン」を押すと、「おやすみタイマー」が解除されます。

- リモコンのフタを閉めてリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く

6ページ「送信のしかた」参照

LED手元灯(橙)を操作する

いざという時に便利なLED手元灯(橙)付き

手元灯

リモコンの「手元灯ボタン」を押している間、LED手元灯(橙)が点灯



ご注意

ひんぱんにLED手元灯(橙)を使用すると電池寿命が短くなります。

留守中に在宅を装う(るすばんモードの使いかた)

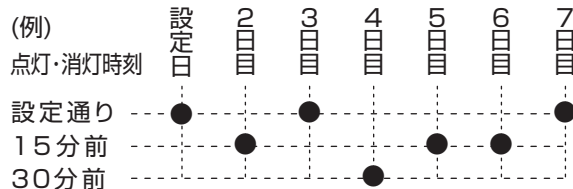
リモコンで留守中に在宅を装う「るすばんモード」設定にしておくと照明器具が自動的に点灯/消灯します。
(本商品で家宅への侵入や盗難を確実に阻止することはできません。)

るすばんモードのはたらき

- 「るすばんモード」をセットすると、留守中に照明器具が自動で点灯・消灯します。



- るすばんモードは解除するまで毎日繰り返します。在宅を装うため、点灯・消灯時刻は「設定通り」、「15分前」、「30分前」の3パターンでランダムに変わります。(設定日のみ設定通り動作します)



るすばんモードをセットする

- 注意** るすばんモードをセットするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。(8ページ「リモコンの現在時刻を設定する」参照)

1

るすばん

リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

るすばん、点灯時刻が表示される
(初期設定:(点灯)17:00)

約2秒後

るすばん 23:00
消灯

約2秒後

るすばん 12:34

るすばん、現在時刻に表示が切り替わり、るすばんモードがセットされる

- もう一度押すと解除します(るすばん表示が消えます)

メモ

- るすばんモードは「普段のあたり」の明るさで点灯します。
- 「おやすみタイマー」と「るすばんモード」では、「おやすみタイマー」の設定が優先されます。
(「るすばんモード」の点灯時間帯であっても「おやすみタイマー」が優先されます。)

2 リモコンのフタを閉めて操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く



メモ

- 壁スイッチOFFでは「るすばんモード」は動作しません。お出かけの際に照明器具をOFFする場合はリモコンで操作してください。
- るすばんモードを再度セットした場合、点灯・消灯時刻は「設定通り」「15分前」「30分前」の3パターンで再び動作が始まります。

るすばんモードの設定時刻を変更する

- 注意** 「るすばんモード」セット中は、設定時刻の変更ができません。「るすばんモード」を解除してから変更を行ってください。

1

時刻設定

リモコンのフタを開けて「時刻設定ボタン」を2秒以上押す

現在が点滅する(るすばんは点灯)

2

時刻設定

リモコンの「上/下ボタン」でるすばんに合わせる

るすばんが点滅する(現在は点灯)

3

時刻設定

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

点灯時刻が点滅する

4

時刻設定

リモコンの「上/下ボタン」で点灯時刻を変更する

- 点滅している時に、時刻の変更ができます。
- 点灯時刻は30分刻みで設定できます。

5

時刻設定

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

消灯時刻が点滅する

6

時刻設定

リモコンの「上/下ボタン」で消灯時刻を変更する

- 点滅している時に、時刻の変更ができます。
- 消灯時刻は30分刻みで設定できます。

7

時刻設定

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す→時刻の変更が完了する

- 「時刻設定」を押さないで約60秒で、前回の設定に戻ります。
- 一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

メモ 「点灯」と「消灯」の同時刻設定はできません。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体が取り付けかない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し ⑤ 5ページ ③ ②再度、アダプタを取り付ける..... ⑤ 4ページ ②	
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度抜き、..... ⑤ 5ページ ① ②本体を押し上げてから ⑤ 4ページ ③ ③コネクタを再度、差し込む ⑤ 5ページ ⑤	
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	8ページ ⑤「壁スイッチで照明器具を 操作する」
勝手に点灯、消灯する	「るすばんモード」セット中である	「るすばんモード」を解除する	⑤ 10ページ 「るすばんモードをセットする」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	— ⑤ 7～8ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がセットされていた	「おやすみタイマー」を解除する (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」は解除されます)	⑤ 9ページ 「おやすみタイマーをセット/解除する」
リモコンで 操作できない	液晶が表示しない 液晶は表示 している LED手元灯 は点灯する	リモコンの電池が正しく入っていない リモコンの電池が消耗している リモコンの電池が消耗している リモコンの電池を交換する リモコンの電池を交換する リモコンのチャンネルが 合っていない リモコンのチャンネルを変更して 操作する	⑤ 3ページ 「各部のなまえと付属部品」 ⑤ 9ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時に ちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常では ありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が 勝手に 切り替わる	「るすばんモード」セット中である 電子ブロックが異常動作状態になっている	「るすばんモード」を解除する 壁スイッチをONにして30秒以内に 下記の①、②の操作を行ってください。 ①リモコンの「フタ」を開けて「リモコン 送信部」を器具に向ける ②リモコンの「チャンネルボタン」と「消 灯ボタン」を同時に押す (「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻り ますので、下欄の「上記の処置を行っても 現象が続く場合」本体の処置②を行ってくだ さい。また、記憶させていた普段のあか り、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りま すので、設定をしておってください。	⑤ 10ページ 「るすばんモードをセットする」 
「ピピピピピピ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口 (保証書内在中) にご相談ください	
点灯・消灯時刻が設定できない 現在時刻が点滅している	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する	⑤ 8ページ 「リモコンの現在時刻を設定する」
「るすばんモード」「おやすみ タイマー」が操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	⑤ 3ページ 「各部のなまえと付属部品」
現在時刻が点滅している (00:00で点滅している)	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	⑤ 6ページ 「送信のしかた」
「るすばんモード」 「おやすみタイマー」で 点灯または消灯しない	信号が届く範囲にリモコンがない リモコンのリモコン送信部が汚れている	器具の真下など必ずリモコンが 動作する場所に置く リモコン送信部の汚れをふき取る	⑤ 6ページ「お手入れについて」
現在時刻の 変更ができない	「るすばんモード」、「おやすみタイマー」 セット中である	「るすばんモード」および 「おやすみタイマー」を解除して から行う	⑤ 9ページ 「おやすみタイマーをセット/解除する」 ⑤ 10ページ 「留守中に在宅を装う (るすばんモードの使いかた)」
「るすばんモード」が 設定時刻より早く 点灯、消灯する場合がある	「るすばんモード」をセットして、2日目以降である (より在宅を装うため、2日目以降からは点灯、消灯時刻 が設定通り、15分前、30分前とランダムに変わります。)	設定時刻通りに、点灯・消灯したい 場合は、その日ごとに「るすばん モード」をセットする	⑤ 10ページ 「留守中に在宅を装う (るすばんモードの使いかた)」

上記の処置を行っても 現象が続く場合

本体	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する ⑤ 9ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照
リモコン	①リモコンの電池を抜き、約30分以上経ってから電池を入れる ②リモコンのチャンネルを変更する ⑤ 9ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順 ②参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中) にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- リモコンの電池を取り外した場合、リモコンのチャンネルが初期設定に変わることがあります。
その際は、リモコンのチャンネルを変更してください。☎ 9ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順 2 参照
- リモコンのLED手元灯が点灯している場合やリモコンの液晶が表示している場合でも、電池の消耗により照明器具の操作ができない場合があります。(LED手元灯の点灯中は、電池の消耗に関わらず照明器具の操作が行えません。)
- リモコンのボタン操作により液晶表示部がちらつく場合があります。
- リモコンは温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。水、コーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。
故障の原因となることがあります。
- LED、常夜灯、リモコンのLED手元灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様



保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
□LGBZ1770 □LGBZ1771 □LGBZ1772 □LGBZ1773 □LGBZ1776 □LGBZ1781 □LGBZ1784	AC100V	50/60Hz 共用	42W	0.43A
□LGBZ2770 □LGBZ2771 □LGBZ2772 □LGBZ2773 □LGBZ2776 □LGBZ2781 □LGBZ2784			46W	0.47A
□LGBZ3770 □LGBZ3771 □LGBZ3772 □LGBZ3773 □LGBZ3776 □LGBZ3781 □LGBZ3784			57W	0.58A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名 住宅用照明器具

●品番 上記「仕様」をご参照ください。

●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2016

LGBZ3770-T3A1

N0616-011016